第６２回　北海道地方交通審議会船員部会　議事概要

開催年月日	平成２５年１１月２２日（金）
開催場所	北海道運輸局６Ｆ会議室

□議　　題□

１．管内船員職業安定業務取扱状況（平成２５年１０月分）について
２．離職四法に基づく減船離職船員現況調べについて
３．離職四法に基づく求職手帳発給数及び支給実績について
４．その他
　(1)情報交換

□議事概要□

１．事務局より平成２５年１０月分の管内船員職業安定業務取扱状況、離職四法に基づく減船離職船員現況調べ、求職手帳発給数及び支給実績について説明が行われた。
　離職四法に基づく減船離職船員現況調べ、求職手帳発給数及び支給実績については前月より変更がないことから説明が省略された。
　これを受けて労働者側委員より、①タンカーへの就職を促進するために、上級職員で必須の危険物等取扱責任者資格取得用講習の体制強化の要望、②職員の求人が多いが、企業は船員育成の観点から部員を採用していただきたいという要望があり、事務局より①事実の確認と必要があれば機会を捉えて本省を通じて要望する旨回答、②全体で共有した。
　また、労働者側委員より求人条件と採用後の労働条件の乖離について行政として把握しているかなどの質問があり、事務局より給料などでの具体的な苦情は無いこと、相談があれば指導していくことが回答されるとともに、就職の際には雇用契約書で労働条件を確認する機会があることなどが意見交換された。
　さらに、公益委員より過去 10 年の求人数、求職数、有効求人倍率の参考資料から、ここ 1～2 年求人数が増加している理由について質問があり、事務局より特に求人数が増加しているという見方はしていない旨回答があるとともに、求職者数の減少、これまでは無かった西日本の船社からの求人、新卒採用での定着率の低下などの雇用状況について意見交換があった。
　加えて、労働者側委員より部員の年齢構成について質問があり、事務局より次回の部会で報告する旨回答があった。

２．事務局より最低賃金の諮問にかかわり、11 月 19 日に開催された第 1 回最低賃金専門部会の審議状況と 12 月 11 日に第 2 回最低賃金専門部会を開催する旨報告があった。

３．労働者側委員より平成 23 年発生の函館のフェリー会社の不当労働行為事件に関して、中央労働委員会の第 2 回調査について報告されるとともに、第 3 回調査が平成 26 年 1 月 20 日に行われることが報告された。

４．労働者側委員より①最低賃金の審議にかかわり今年度諮問されなかった内航鋼船運航業及び木船運航業と海上旅客運送業について、来年度の諮問要望、②航海日当の非課税枠が拡大され現在労使協議を進めていること、③全日本海員組合の全国大会が開催された旨報告された。

５．次回の船員部会は平成 25 年 12 月 20 日（金）15 時 30 分より開催することを確認した。

（以　上）

北海道運輸局海事振興部船員労政課